

2023年2月

No. 62

書道教室 薬院 一凛
sho-do ICHIRIN

継続は力なり



月刊
一凛



夢は美し〜がよい

希望は高きがよい

夢も希望も捨てなければ

必ず近づいてくる

目的は高きがよい、そのための

一里塚として目標を設定せよがよい

〜々々そのために時を

刻むがよい



月刊一凛 No.62 〈2023年2月〉

《競書審査員》佐々木峯雲 《発行》書道教室 一凛 薬院 《小作品査定員・制作》野口昌芳(NS)



書道教室 薬院 一凛
sho-do ICHIRIN

〒810-0022 福岡市中央区薬院3-7-25 原ビル2F
TEL / 092-791-7251 FAX / 092-791-7786
<https://www.shodo-ichirin.com/>



守破離

「守破離」は、茶道や武道などにおける師弟関係の在り方の一つです。茶道江戸千家の開祖である川上^{かわみふ}不白^{はく}が強調したことから「道」の指針として定着しました。

すなわち修行の初期段階です。次の「破」は、研究して自分に適した型をつくる、つまり師匠の型を「破る」こと。そして「離」は、師匠と自分自身の型や技術を理解すること、最終的に型そのものから「離れ」、自在の域に達するということ。

「破」であろうと誰もが考えます。ところが実は「守」なのです。上達して「離」まで至ったと自分では思っている、基本の基本を「守る」ことができないれば極めたとは言えません。何事も、そこを忘れずに励みたいものです。

「守破離」は千利休の教えを和歌の形にした「利休道歌」に収められている一首、「規矩作法守り尽くして破るとも離れるととも本を忘るな」に由来すると言われています。「決まりや作法を守り身に付け、改善・改良のために型破りをして、もとの型から離れて新たな型を創

造したとしても、基本の型をわすれてはいけない」という事です。基本がいかに大切なのかを説いてるのだと思います。私は型（師匠の「手本」）を愚直に「真似る」ことに徹して精進しています（現在進行形）。現在、日々漢書で古典の書を毎日臨書してインスタグラムに投稿しています。その際も書をよく見て「素直な心」を持って「真似る」ことに徹しています。私にとっての「守」は「師匠の型を真似る」ことに尽きます。ですから、皆さんに事ある毎に、「手本をよく見るように」と云っているのは、そのことが上達、習得の「二番の近道」だとの考えからです。それが基本の「基本」なのだとの確固たる信念からです。

佐々木峯雲

墨を擦る

文・岡田 雄希

大

学新卒で入社してから40年以上勤めた新聞社をやって、昨年末から地元民間放送局のラジオ用ニュース原稿を作る仕事に就いた。作るとはいえ放送局の記者さんや通信社から打電されてくる原稿を定時のラジオニュースの尺（時間）に合うようにリライトしたり調整するだけの仕事だ。

長年、新聞社で記者が書く記事原稿を紙面化する編集者の要望に応じて長くしたり、短くしたりしてきた経験がここに来て役立った。一方で、地元民間放送局は、新聞社と同じ報道機関にくくられる仕事だが「業態が違うとこんなに違うのか」と異文化に接するようで驚く毎日だ。

冷静に考えてみればわかることだが、放送局は何より映像にこだわる。事件が起きると社内がざわつくのは新聞社も放送局も同じだが、新聞社では大きな事件・事故が発生すると「サツ（警察）に電話入れて確認しろ！」とデスクの大声がフロア全体に響き渡る。一方、放送局のデスクからは「絵（映像）はあるのか」「絵を手に入れろ！」と叫ぶ姿を見る。

また、新聞記者時代は朝夕刊でいわゆるベタ（1段で抜う短い小さな）記事でも、他社にすっぱ抜かれるとデスクや先輩記者から「お前、何やってんだ」と叱責を受けてきた。こ

至福のとき

ろが、放送局ではよほど大きなニュースでないかぎり、そのような叱責をする人間は一人もいない。何より、新聞社のように寝食を惜しんで24時間働きアリのように走り回るサツ回りがいない。その代わりSNS（特にツイッター）を駆使して、地域の事件事故を警戒するソフトがパソコンに入っておりパトカーや消防車、救急車の動きを24時間チェックしている。これも取材記者の人数が少ないことや映像がないとニュースが成り立たないからなのだろう。何十年も前に新聞社の顧問をしていた弁護士さんから「あなたたち新聞記者たちの仕事ぶりやニュースに対するこだわり方は戒律が厳しい」宗教的「なものを感じる」とからかわれたことがあった。今や新聞は読まれなくなり販売部数も激減している。若い頃に受けた罵倒や、その際に受けた精神的な負担は何だったのだろうかと思わなくもない。

一方でニュースを扱う仕事を定年後もやれるというのは若い頃に鍛えられたおかげでもある。何より役得もある。読み間違いなどを防止するためアナウンサーさんたちがハーサル代わりに出来立てのニュース原稿を私の隣席で試し読みする。時にテレビで見たことがある華やかな女性アナウンサーさんが「これでいいでしょうか？」と尋ねてくる。この瞬間だけは至福のときなのである。

おかだ・ゆうき／
昭和33年3月20日、
北九州市生まれ。平成
23年12月に二瀬に入
門。趣味は自転車と
酒を飲むこと。酒は誘
われたら断らないが
モットー。

2022年
10月13日
▼
12月30日



『選りぬき 一日一書』(石川九揚/新潮文庫)を参照に昨年10月よりスタートした企画「日々凛書」。バラエティーに富んだ書とデザインを日々投稿しています。楷書や行書、草書などの書もあれば、「この字は何?」と読めない字もあったりします。これからも絵画のような作品を毎日投稿していきます。まだフォローをされていない方は是非フォローをお願い致します。




2月分課題

2月分課題は昇段・昇級審査対象課題となります。

提出期限予定日は3月10日(金)です。

日頃の練習の成果を十分に発揮し、昇格を目指して頑張りましょう。

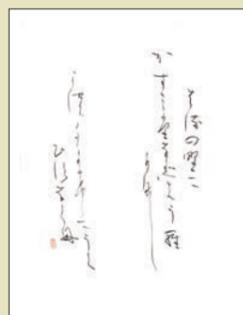
硬筆

かな

漢字

春の野に霞たなびきうら悲し
この夕影に鶯鳴くも
《大伴家持》

あまり最近耳に「な」がなくなつたが、初夢を見ると縁起が良しといわれるのが、「富士鷹三加子。いわれについては様々あるが、駿河の国で家康が好んだもの、高いものを挙げた」という説が有力だ。

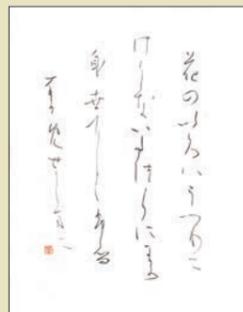


六段以上



六段以上(草書)

初段以上

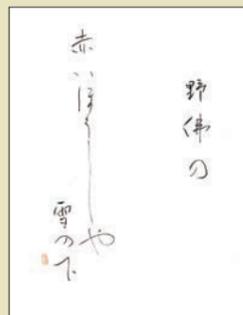


初段～五段



初段～五段(行書)

福岡市が博多市か、明治時代に市制を取り入れるときに、市の名前をどうするか大論争になった。議会の投票の結果、一票差で福岡市に決まった。



10級～1級



10級～1級(楷書)

10級～1級

- 配布された手本に間違いがないか、上記課題一覧を必ず確認してください。

受験料 六段まで…1課題 500円/準師範以上…1課題 800円

※選択受験をする方は申請書の提出が必要となります。
※令和4年10月の昇段・昇級試験後から令和5年1月までの3ヶ月の間で、課題の未提出が1回以上ある方は受験不可となり、課題提出のみの扱いとなります。

- 硬筆の添削に関して
初段以上の方の添削は毎月1回限りとします。
十分練習を重ねて仕上げた作品を添削依頼してください。

何気ない日常の、何気ないやりとり。

さふらふ 9

拝啓、立春の候

先日少し遅れて実家に帰省した時に自分の部屋を整理していると「なんでこんな物を残してるんだろう」という物がたくさん出てきました。

先生は「捨てられない物」ってありますか？

大物から小物まで捨てられないものはたくさんあります。皆さんの多くの方も同じではないでしょうか。

私は「物には魂が宿っている」という考えをもっています。だから簡単には捨てられず、新しいものにおいそれとは替えられない性分です。

一凛を始める数年前から現在も同じビジネスバックを使っています。少なくとも15年以上になります。さすがに昨年半年頃からファスナー部分が至る所壊れて開閉に苦勞しているので、何度もネットで新しいバックを検索していますが買い替えには至っていません。捨てられない一つなのでしょう。

私にとって横綱級の捨てられない物は大学の教科書です。新年度になると新しい教科書を購入しますが、一冊の値段が今から40年以上前で2,500円から4,000円程度と高価でした。学生にとってはかなりの負担で、アルバイトでこつこつ貯めたお金で泣く泣く購入していた記憶があります。東京～栃木～北九州～福岡市博多区～中央

区～現在地への引っ越しの際も処分できず、今では物置に眠っています。

大学1年の必須科目を4年生まで持ち越した経験があります。今まで何度も、テスト前にタイムスリップした悪夢を見ることがあり、目覚めた時の気分は、それはそれは最悪です。「物には魂が宿っている」と思っていますので、廃品回収なんぞに出そうものなら、教科書達からもっとひどい悪夢を見せられるのではとの恐怖から捨てられないでいるのかもしれません。

今回、画像を撮るために物置から教科書を引っ張り出して、数冊、教科書を開いてパラパラとめくってみました。「もう読むことはないだろう～な～」と思いつつも、写し終わると何の躊躇いもなく元あった物置に綺麗に並べて仕舞いました。



COVER ART
Miki Araki